

【質問】遺伝子検査でかかりやすい病気が分かると聞きました。どこで検査を受けることができますか。(40歳男性)

遺伝子検査

【回答】自分の遺伝子を

解析し、体質や遺伝性疾患のリスクを調べる検査を遺伝子検査といいます。以前は簡単に受けることができませんでした。最近では検査技術の進歩で、インターネットなどを通じて比較的安価で簡単に受けられるようになりました。個人でもサービス業者に直接申し込むことができます。

遺伝子検査には二つのケースがあります。一つは既にかかっている、あるいは親族に発症している病気が



体質や病気の確率推定

結果に一喜一憂しないで

項目です。健康保険が適用されるのは、筋ジストロフィーやハンチントン病な

には遺伝的要素よりむしろ、心配であれば、まずはかかりつけの先生に相談してみてください。遺伝子検査は病気の予防や早期発見、治療に有効な手段であり、これから飛躍的に研究が進む分野でもあります。しかし現時点ではまだ克服しなければならぬ問題点も抱えています。もし受けるのであれば、結果の良しあしに一喜一憂せず、その結果を今後の人生にどのように生かすか。このことをよく考えた上で受けていただきたいと思います。(県医師会)

が重篤で特殊な遺伝性の病気であり、早期にその診断をつける必要がある場合。もう一つは、一般的ながんや生活習慣病など誰でもかかる病気になる確率を推定するために行う場合です。欧米では4600項目以上の遺伝子検査が可能ですが、日本の医療機関で受けることができるのは144

項目です。健康保険が適用されるのは、筋ジストロフィーやハンチントン病など36種類に限られ、がんや出生前診断には適用されていません。家族ががんや生活習慣病で亡くなった場合、「自分も同じ病気で死亡するのではないか」「子どもに遺伝するのではないか」と心配する人は多く、日常診療でよく相談を受けます。がんや生活習慣病の発症

て病気を恐れるあまり、ストレスを感じて生活するようになれば逆に悪影響を引き起こしてしまいます。遺伝的体質を知ることよりも大切なことは、いろいろな外的要因を取り除き、発病の予防に努めることです。健康診断を受けて早期に見すれば、病気を治すことが可能な時代になりました。

質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。